

環境経営レポート

期間：2025年4月1日～2025年9月30日まで



1.組織の概要及び 対象範囲	P.2	6.環境経営計画目標及び環境経営 計画の実績・取組結果とその評価	P.7
2.環境経営方針	P.3	7.2025年10月以降の環境経営目標 及び環境経営計画	P.8
3.環境経営目標	P.4	8.環境関連法規等遵守状況の確認 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P.9
4.環境経営計画 ・実施状況評価	P.5	9.代表者による全体評価と見直し指示	P.10
5.環境実施体制	P.6		

2025年10月7日作成

株式会社IJTTサービス

組織の概要及び対象範囲

事業者名 株式会社IJTTサービス

代表者氏名 中村 宏樹

環境管理の責任者・担当者及び連絡先

環境管理責任者 丸山 和保

担当者 荻原 雄介

連絡先 〒243-0434 神奈川県海老名市上郷4丁目3番1号

T e l & F a x <TEL> 046-231-2968 <FAX> 046-234-1496

E - m a i l yusuke_ogiwara@ijtt-jp.com

所在地

1 事業所名 本社・海老名工場

所在地 〒243-0434 神奈川県海老名市上郷4丁目3番1号

2 事業所名① 真岡工場

所在地① 〒321-4346 栃木県真岡市松山町21番2号

事業所名② 土浦工場

所在地② 〒300-0015 茨城県土浦市北神立町4番2

事業内容 ①親会社であるIJTT工場における清掃業務、生産補助業務
②商用車の部品、試作部品等の製作

事業の規模 2024年度（2024年4月～2025年3月）

売上額 7.43億円

従業員数 93名 海老名工場：69名（パート8名）

（2025年4月現在） 真岡工場：9名（パート3名）

土浦工場：15名（パート7名）

対象範囲（全組織・全活動）

（1）認証・登録対象組織

段階的認証 本社・海老名工場

真岡工場と土浦工場は、2年以内に認証・登録をする。

（2）認証・登録対象活動

工場清掃業、工場生産補助、商用車の部品・試作部品の製作

環境経営方針

[企業理念・事業活動]

当社は、事業活動の過程で発生する環境負荷を認識することで、環境問題に対する意識を高め、循環型社会の構築と環境負荷低減の活動に継続的に取り組みます。

[行動指針]

1. 環境負荷の低減を図るため、以下の活動に取り組みます。
 - (1) 省エネ(燃料、電気)を推進し、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
 - (2) 廃棄物の排出量の削減に努めます。
 - (3) 水の使用量の削減に努めます。
 - (4) 化学物質の使用量の削減に努めます。
 - (5) 緑化活動の取組でCO2削減に努めます。
2. 事業活動にあたっては環境関連法令その他の要求事項を遵守します。
3. 環境経営の活動は、継続的改善を実施します。
4. 環境経営方針は、全ての従業員に周知します。

2025年4月1日

株式会社IJTTサービス
代表取締役 中村 宏樹

環境経営目標

承認	作成
2025/4/1	2025/4/1
丸山	荻原

環境経営目標	基準(実績)		年度目標		中期目標	
	2024年度		2025年度		2026年度 (2026年4月 ～2027年3月)	2027年度 (2027年4月 ～2028年3月)
	通年(2024年4月 ～2025年3月)	運用期間相当	通年(2025年4月 ～2026年3月)	運用期間		
		2024年4月 ～2024年9月		2025年4月 ～2025年9月		
1. 二酸化炭素排出量の削減	(排出量) 総量 16,835 kg-CO ₂	(排出量) 総量 8,427 kg-CO ₂	(排出量) 1%削減 16,666 kg-CO ₂	(排出量) 1%削減 8,343 kg-CO ₂	(排出量) 2%削減 16,498 kg-CO ₂	(排出量) 3%削減 16,330 kg-CO ₂
1. (1)自動車燃料(ガソリン) 使用量削減 (二酸化炭素排出係数: 2.32kg-CO ₂ /L)	(処理量当り) 879.6L (2,041kg-CO ₂)	(処理量当り) 494 L (1,145kg-CO ₂)	1%削減 871L (2,021kg-CO ₂)	1%削減 489L (1134kg-CO ₂)	2%削減 862L (2,000kg-CO ₂)	3%削減 853L (1,980kg-CO ₂)
1. (2)フォーク燃料(軽油) 使用量削減 (二酸化炭素排出係数: 2.58kg-CO ₂ /L)	(処理量当り) 5,734L (14,794kg-CO ₂)	(処理量当り) 2,822 L (7,282kg-CO ₂)	1%削減 5,677L (14,646kg-CO ₂)	1%削減 2,794L (7,209kg-CO ₂)	2%削減 5,619L (14,498kg-CO ₂)	3%削減 5,562L (14,350kg-CO ₂)
1. (3)電気使用量 削減推進	削減推進	削減推進	削減推進	削減推進	削減推進	削減推進
2. 廃棄物排出量の削減	削減推進	削減推進	削減推進	削減推進	削減推進	削減推進
3. 水 使用量の削減	削減推進	削減推進	削減推進	削減推進	削減推進	削減推進
4. 化学物質使用量の削減	適切管理	適切管理	適切管理	適切管理	適切管理	適切管理
5. 緑化活動取組によるCO2 削減	構内花壇植え替え 4回／年	構内花壇植え替え 1回／3カ月	構内花壇植え替え 4回／年	構内花壇植え替え 1回／3カ月	構内花壇植え替え 4回／年	構内花壇植え替え 4回／年

注:

- 1) 電気、廃棄物、水については、親会社である株式会社JTTが一括して管理しているため、
個別の使用量の把握はできないが、節電、廃棄物排出量の削減、節水に積極的に取り組んでいる。

2025年度環境経営計画・実施状況評価

承認	作成
2025/10/7	2025/10/3
丸山	荻原

基準年度:2025年度

評価 ○:達成 ×:未達 □:計画 ■:実施

NO.	項目	年度目標 (2025年度)	達成手段	責任者	2025年												2026年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	Co2排出量 目標値	kg(キログラム)	ガソリン(1L=2.32kg) 軽油(1L=2.58kg)		505 3662			505 3662			505 3662			505 3662					
1	二酸化炭素排出量の削減	1%削減(→99%) 16,835kg ↓ 16,666kg	・自動車燃料(ガソリン)削減 ・フォーク燃料(軽油)削減	管理 責任者 荻原															
					■	■	■	■	■	■			□	□	□	□	□	□	
			計画排出量累計(kg)		1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	
			実績排出量累計(kg)		1,334	1,386	1,464	1,504	1,169	1,267									
				評価	×			○											
1 (1)	自動車燃料(ガソリン) 使用量の削減	1%削減(→99%) 879.6L ↓ 871.0L	・急動を行わないスムーズな運転 ・スピードを抑えた運転 ・タイヤ空気圧管理 ・夏季以外のカーエアコンの抑制	管理 責任者 荻原	■	■	■	■	■	■			□	□	□	□	□	□	
			計画燃料使用量／処理量(L)					218			218				218			218	
			実績燃料使用量(L)		64	67	62	100	73	16									
			同 累計(L)			131	193	100	174	190			0	0			0	0	
			CO2排出量(kg)：1L=2.32kg				448			440				0			0		
				評価	○			○											
1 (2)	フォーク燃料(軽油) 使用量の削減	1%削減(→99%) 5,734L ↓ 5,677L	・毎日の点検 ・急動を行わないスムーズな運転 ・構内速度を遵守した運転	管理 責任者 荻原	■	■	■	■	■	■			□	□	□	□	□	□	
			計画燃料使用量／処理量(L)					1,419			1,419				1,419			1,419	
			実績燃料使用量(L)		460	477	512	493	387	477									
			同 累計(L)			936	1,448	493	880	1,357			0	0	0	0	0	0	
			CO2排出量(kg)：1L=2.58kg				3,735			3,500				0			0		
				評価	×			○											
1 (3)	電気使用量の削減	削減推進	・使用しない電気はオフにする。 ・空調機フィルターを定期清掃する。 ・教育と啓蒙	—	■	■		■	■				□	□		□	□		
					■			■					□			□			
					■			■					□			□			
2	廃棄物排出量の削減 (一廃排出量)	削減推進	・一般廃棄物の分別徹底 ・書類のデジタル化 ・教育と啓蒙	—	■	■		■	■				□	□		□	□		
					■			■					□			□			
					■			■					□			□			
3	水使用量の削減	削減推進	・こまめな節水徹底 ・教育と啓蒙	—	■	■		■	■				□	□		□	□		
					■			■					□			□			
					■			■					□			□			
4	化学物質の適切管理 ◇対象 PRTR法で定められた 化学物質 ・KSシンナー ・ユシローケン	適切管理	・適切な管理／保管 ・使用量(在庫量)記録	—	■	■	■	■	■	■			□	□	□	□	□	□	
				評価	○			○											
5	構内緑化活動実施による Co2削減	構内花壇植替 1回／3カ月	・構内花壇 管理 構内花壇 植替回数(回) ・枯れ葉・雑草を用いたコンポスト化を実施	管理 責任者 荻原			■			■					□		□		
								1回			1回								
					■	■	■	■	■	■			□	□	□	□	□		
				荻原	○			○											
NO.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項(定期、臨時)	評価・確認結果、コメント、是正処置等															
1	2025年10月3日	荻原	臨時：25年4月～25年9月確認	2024年11月より環境経営活動(環境負荷項目のデータ集計等)を開始した。															
				現時点では2025年度の年間データは未集計のため、1年間活動を継続した後に、あらためて評価を見直す予定。															

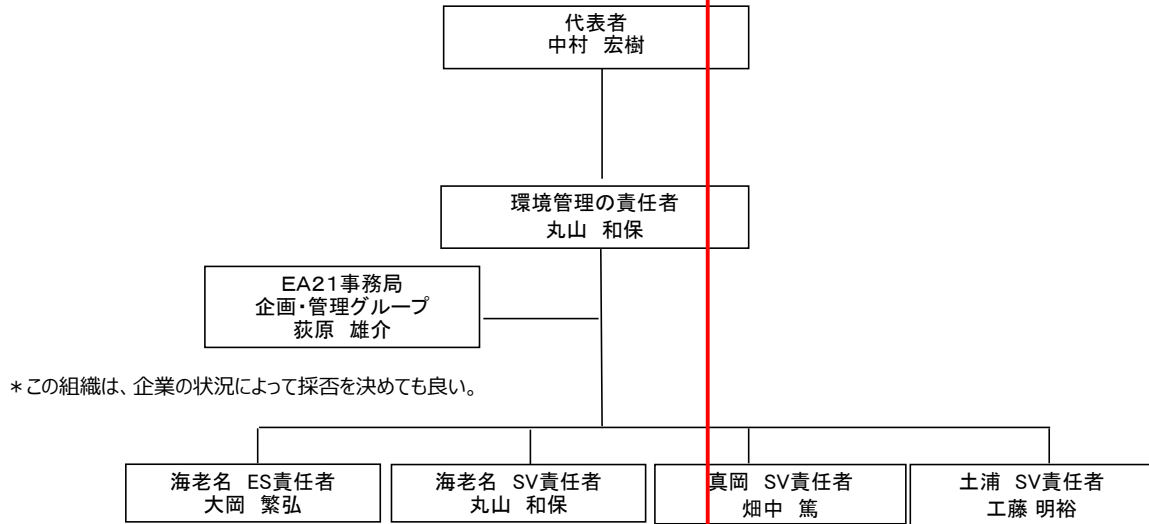
注:
1、この表は、通常の1年間の期間での計画・実績対比をベースとしているが、登録審査のための3ヶ月間の期間の欄も設けてある。状況に応じて使い別けてください。
2、二酸化炭素の排出量は総量ですが、実績は負荷の自己チェックを参照してください。

環境実施体制、役割、責任及び権限表

作成 2025年4月3日

※初年登録時の活動範囲

承認		作成
丸山		荻原



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理の責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境経営レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境経営方針を理解し、部門の環境経営計画に従って活動する。

(回覧ルート)

社長→全部門責任者、環境管理の責任者

改訂履歴

改訂数	改訂理由	改訂月日	承認	作成者
1	実施体制及び役割及び責任・権限表 制定	2024,9,9	中村	荻原
2	人事異動により代表者・責任者の氏名変更	2025,4,1	丸山	荻原

環境経営計画目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

2025年度環境経営活動評価書

2025/4～2025/9の
削減推進目標と結果

承認	作成
2025年10月7日	2025年10月3日
丸山	荻原

担当者		環境管理 の責任者	環境管理の責任者	環境管理の責任者		
No.	推進項目	年度目標	結果確認	評価	達成の要因/未達成の 原因	未達成場合の是正措置・予防処置
1	二酸化炭素排出量 の削減	1%削減(99%) 8, 427kg-CO ₂ ↓ 8, 342kg-CO ₂	8,123 kg-CO ₂	○	全従業員対象の 環境教育を実施	—
1 (1)	自動車燃料(ガソリン) 使用量の削減	1%削減(99%) 494L ↓ 489L	383L	○	全従業員受講対象の 環境勉強会において エコドライブを教育	—
1 (2)	フォーク燃料(軽油) 使用量の削減	1%削減(99%) 2, 822L ↓ 2, 794L	2,804L	×	全従業員受講対象の 環境勉強会において エコドライブを教育	フォークリフト燃料使用量については「1%削減」の 目標を達成することはできなかったが、前年度と比 較して削減を図ることができた。 フォークリフトの稼働時間は、親会社であるIJTTの 生産状況に大きく左右されるため、今後も引き続き 稼働実績を注視し、燃料削減に向けて改善の余 地を検討する。
1 (3)	電気使用量の削減	削減推進	—	○	全従業員受講対象の 環境勉強会において こまめな電源オフをす ることでの省エネの推 進を教育	—
2	廃棄物排出量の削減 (一廃排出量)	削減推進	—	○	全従業員受講対象の 環境勉強会において ゴミの分別を教育	—
3	水使用量の削減	削減推進	—	○	全従業員受講対象の 環境勉強会において 節水を教育	—
4	化学物質の適切管理 ◇対象 PRTR法で定められた 化学物質 ・KSシンナー ・ユシローケン	適切管理	—	○	全従業員受講対象の 環境勉強会において 化学物質の適正管理 (鍵のかかったキャビ ネット保管)を教育	—
5	構内緑化活動実施による Co2削減	構内花壇植替回数 1回/3カ月	1回/3カ月	○	全従業員受講対象の 環境勉強会において 緑化活動取組を教育 計画通り、構内花壇 花の植え替え実施済	—

報告手順:
担当者が結果確認記入→責任者(環境管理の責任者)が評価・原因究明・是正・対応策記入→代表者

2025年10月以降の環境経営計画及び環境経営目標

No	10月以降の環境経営計画	10月以降の環境経営目標	【目標値の参考計算式】
1	二酸化炭素排出量の削減	2025年10月以降も継続してエコドライブを推進し、自動車燃料（ガソリン）およびフォーク燃料（軽油）の削減を図ることで、二酸化炭素排出量の削減を行う。	
1	自動車燃料（ガソリン）		
(1)	使用量の削減 ・エコドライブの推進		
1	フォーク燃料（軽油）		
(1)	使用量の削減 ・エコドライブの推進		
1	電気使用量の削減		
(1)	・節電推進 ・空調機フィルター定期清掃 ・クールビズ & ウォームビズ推進 ・冷凍庫 霜取り ・使わない機器のプラグオフ	削減推進	—
1	廃棄物排出量の削減	削減推進	—
(2)	（一般排出量） ・一般廃棄物の分別徹底 ・マイ箸持参の推奨 ・マイカップ持参の推奨		
1	水使用量の削減		
(3)	・こまめな節水徹底	削減推進	—
1	化学物質の適切管理	適切管理	—
(4)	・適切な管理/保管		
1	構内緑化活動実施による	構内花壇植替	—
(5)	CO2削減	1回／3ヵ月	
	・花壇植替 ・緑化管理		

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認・評価記録表

1. EA21事務局は、当社が適用を受ける法規制等を毎年定期的(原則7月)に調査し見直しすること。
2. 管理部署責任者は毎年チェック日に遵守状況を確認・評価すること。

作成日： 2024年11月1日
改訂日： 2025年10月1日

作成・改訂時			遵守確認・評価終了時		
承認		作成	承認		評価
丸山		荻原	丸山		荻原

I. 遵守義務のある法規関係

区分	環境関連法規等名称	法令条項	法規制等要求事項	当該事項	遵守事項等	管理部署責任者		遵守状況確認・評価	
								チェック日	結果
当社は親会社であるIJTTの敷地内に所在しており、廃棄物や大気排出物、水質排出物など、各種環境関連法令に基づく環境関連法規については、IJTTが一括して管理しています。IJTTと共に法令遵守の徹底と適切な環境管理体制を維持しています。 なお、当社において環境関連法規においての違反・訴訟は過去にありません。									

配布先	代表者による全体の評価と見直し・指示 結果報告書	文書項番：14	
		環境責任者	作成
		丸山	荻原
見直し対象期間	2025年 4月 1日～ 2025年 9月30日（6カ月）		
見直し実施月日	2025年 10月 7日（定期・臨時・初回）		
出席者	中村宏樹、丸山和保、荻原雄介		
提出資料名	①環境経営目標の達成状況 ②環境経営計画の実施及び運用結果 ③環境関連法規などの遵守状況 ④外部からの環境に関する苦情や要望 （地域住民・顧客・自治体・消費者や社会の要請等も含む） ⑤その他		
「課題とチャンス」	「課題とチャンス」に下記の一文を追記。 ※追記内容： 事業活動と環境との関わりについて、環境負荷の低減に配慮した 企業活動を進め、「人・地域・社会・地球」にやさしい企業を目指す、 という一文を追加。		
見直しの要否	昨年度は、会社の循環型価値を高めるため、「環境改善アイデア実現計画 （ロードマップ）」を策定した。本年度からは、2カ月に1回開催している 「環境推進会議」で進捗を確認しつつ、新たな環境改善アイデアの実現にも 取り組んでいる。		
見直し結果	①環境経営方針の変更の必要性 （有り・無し） 期限÷ ②環境経営目標及び環境経営計画の変更の必要性 （有り・無し） 改善担当者： 期限÷ ③実施体制の変更の必要性： （有り・無し） 改善担当者： 期限÷		
総括	①前回の指示への取組結果 ・二酸化炭素排出量 前年度比1%削減の目標は達成した。ただし、これは昨年度からの 社有車利用の減少による効果が大きく、まだ仕組みとして 定着していない点が課題である。 ・廃棄物・電気・水の排出量管理 目標管理のための業務指標見直しについては、部分的に環境負荷削減 に取り組んでいるが、業務指標（業務のものさし）が確立できていない。 今後の課題とする。 ・SV 真岡GrとSV 土浦Grのエコアクション21取得に向けて 各Grの責任者と話はしたものの具体的な取り組み内容が決定 していない。こちらも今後の課題とする。 ②今回の評価結果及び指示内容等 本年度より、2カ月に1回の頻度で「環境推進会議」を開催し、環境 改善活動の報告・検討を行っている。現状としては、部分的な環境改善の 取組みは進めているものの、業務指標が未整備であり、各項目の明確な 担当者も定まっていないため、十分な評価ができていない状況である。 今後は、①で記載した課題に加え、各項目ごとに担当者と評価指標を 設定し、計画的な環境改善活動を進めていく。 さらに、新たな環境改善アイデアの実現については、既に策定した ロードマップに基づき、会社の循環型価値を一層高めていく方針である。		

改訂履歴

版数	改訂理由	改訂月日	承認	作成者

（閲覧ルート）

事務局→環境管理の責任者（承認→関係部門へ配布）